

町報

お

OBUSE TOWN
PUBLIC RELATIONS
MAGAZINE

ぶ

Monthly
January
No.1025

せ

1

2019

新春特集 P2

年頭あいさつ

——— 小布施町長 市村良三

新春インタビュー 亥年の決意

2018年 主な出来事 P6

お知らせ P8

申告相談が始まります

育英金をご利用ください ほか

暮らしの情報 / 戸籍の窓口 P18

Cover 新春歩き初め会

町民の皆さんと共に 確かな歩みを

小布施町長 市村良三

新年あけましておめでとうございませう。町民の皆さんにおかれましては平成31年の幕開けをお健やかに迎えのことと拝察いたします。また、平素より町政の運営にあたりご理解とご支援を賜り心から厚く御礼申し上げます。

昨年は日本中が災害に見舞われた年でありました。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震、そして度重なる台風襲来があり、台風21号は当町にも大きな爪痕を残しました。農作物は被害総額が1億円を超え20年ぶりの大被害となったほか、町内各所の神社では倒木によって

鳥居や社殿が破損し、中条自治会の公会堂の屋根が吹き飛ばされたほか、各所で倒木により道路が寸断されました。改めて、被害に遭われた皆さんにお見舞い申し上げますとともに、素早く復旧にご尽力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。今、日本は大きな経済変動、社会変動のただ中にあり、人口が減少していく社会にもなっております。小布施町もこれに対応した施策を進めていかなくてはなりません。さらに5年先、10年先もこの町の良さを失わず確かな歩みを進めていくための取り組みが必要です。

年頭にあたり取り組みの一端をご報告申し上げます。

まずは弱い立場の人たちに、真に寄り添った施策を進めてまいります。少子「超」高齢社会にあつて、身体的ハンディを背負う方や精神的に弱っている方、あるいは経済的な困窮に陥っている方が増えています。このような皆さんを支援していくには、相談窓口の幅を広げ、個々のお悩みにしっかりと向き合うことが大切であり、その中できめ細かな支援策を講じていく必要があります。そのためには各種専門機関との連携も必要ですが、一番大切なのは皆さんにとって最も身近な存在であるべき町職員の能力を高めていくことです。しかし、職員が担う事務も年々増加しており、皆さんと向き合う時間が十分に確保できていない現状があります。役場の事務をできる限りIT化するなど業務改善を進め、職員本来の職務である町民の皆さんと向き合う時間を確保し、共に課題や悩みを解決していく「プロの応援団」としての職員を育成してまいります。

小布施町の良さはそれぞれの自治会のまとまりの強さ、結束の強さにあり、自治会活動は小

布施町の宝であります。しかしながら、少子高齢化によって活動の持続が困難になっている自治会もあります。この小布施町の宝を守っていくための対策の一つとして、コミュニティ等のあり方をもう一度見直す、さらに開発が制限されている市街化調整区域で住宅の建設を可能とするなど、若い人たちが転入しやすい環境を整えることが必要だと思えます。柔軟な土地利用のあり方も含め、小規模自治会が新たな活力を得られるよう皆さんと共に考え、実践のご支援をしてまいります。

次に地域メディアの充実です。現在、行政から町民の皆さんへお知らせをお届けする方法として、町報、同報無線、ホームページ、隣組回覧などがありますが、時代と共に情報を得る手段が多様化しています。携帯電話、スマートフォンは多くの皆さんがすでにお持ちのことと思えますが、それぞれお持ちの媒体で情報を取得いただけるよう発信環境を整えていく必要があります。また、情報は平常時のもの、緊急時のもの、そして町内向け、町外向けなどさまざまなものがあり、それらを整理し、それぞれの世代やライフス

スタイルと結びついた情報をお届けできるよう検討していきます。皆さまにとって必要な情報を多岐に、多角的に発信し深化させていくため、昨年からは若い専門家の皆さんのお力を借りて研究を進めており、今年の早いうちに実験的な取り組みをスタートさせたいと考えています。

また、再生可能エネルギーの活用も優先して取り組むべき施策であります。北海道胆振東部地震の際の長時間にわたる停電を考えますと、大きな電力会社だけに電力の供給を頼る時代ではないと言えます。これは再生可能エネルギー資源の少ない小布施町にとって高いハードルでありますが、昨年、小布施町にご縁のある企業が町内に小水力発電所を建設し、稼働を始めてくださいました。平常時も含め、環境や安全に配慮したエネルギーを安定的に利用できるようにするための研究を重ね、小布施にとっての財産である景観にも配慮した設備を目指します。さらに近隣市町村などと広域で取り組むことにより将来的に相当量の電力を生み出すことが可能にな

るものと考えております。さらに、国道403号を中心とした「人」優先の道づくりが事業主体となる県のご理解もいただき、早ければ来年に一部着工の目途が立ち、新たな道空間を創造するという試みが次の展開を迎えております。

平成も残り4カ月となり、新たな時代の幕開けとなります。このような2019年を皆さまと共に迎えられることに感謝し、災害に見舞われることなく町民の皆さんが健康やかにお過ごしいただける一年になることを祈念し、年頭のごあいさつといたします。



「幅広い業務を担えるようになりたい」 荒井史香 さん(上町) *Arai Fumika*

大学を卒業後、携帯電話の代理店に就職しました。この仕事を選んだのは、たくさんの人と関わることができるから。

お店には、毎日いろいろなお客様がお見えになります。時にはお叱りを受け落ち込むこともありますが、楽しいと思う事が方が圧倒

的に多いです。今はまだ覚えることがいっぱい。もっと勉強して、今年は故障の対応や詳しい操作案内など幅広い業務を担えるようになりたいです。

プライベートでは、車の運転ができるように頑張ります。



「全く違うことをやってみたい」 酒井菊枝 さん(上町) *Sakai Kikue*

おぶせ太極拳クラブで約20年、健康太極拳を毎週続けています。ほかに女声コーラスや、コカリナ、水墨画など趣味はいろいろです。

家の畑では大根、白菜など、ほとんどの野菜を作っています。食べることはもちろん、料理も好きで、採りたての野菜で変わった料

理にも挑戦しています。だから元気なのかもしれないですね。

庭木もたくさんあるので、剪定したり、野鳥もたくさん来ます。これが楽しみです。

今年は今までと全然違うことをやってみたいなと思っています。



「思いのある人を紹介する場を作りたい」 竹内淳子 さん(山王島) *Takeuchi Junko*

おぶせエバーグリーンの代表を務め、オープンシェアスペース「トポス」を運営しています。また小布施短編映画祭、おぶせこ応援隊、生活クラブ、OBUSE食と農の未来会議、朝読書ボランティアなどさまざまな活動をしています。人とつながって思いを共有できることがやり

がいですね。

今の目標は、トポスを、いろんな思いのある人が集まり、やりたいことが実現できる場として育てていくこと。今年はトポスに販売スペースを設け、思いのある人を紹介できる場所として、もう一步ステップアップさせようと思っています。



「小学生のうちに三段までになりたい」 栗ガ丘小5年 涌井琉々菜 さん(押羽) *Wakui Ruruna*

10月に開催された囲碁の小中学生の県大会、女子の部で優勝しました。囲碁を始めたのは小学3年生の時。お母さんに勧められて囲碁教室に行ってみたら楽しかったので行き始めて、今は週2回通っています。囲碁は、先を読んでどうなるか考

えるところが楽しいです。勝つとうれしいけど、負けても、あそこがいけなかったかなと考えてみます。

もっと先を読んで打てるようになりたい。30級から始まり今は2級。さらに初段になって、小学生のうちに三段になるのが目標です。



「昨年は女性消防団員が誕生 たくさんの女性に入ってもらいたい」 消防団副団長 中沢英俊 さん(飯田) *Nakazawa Hidetoshi*

昨年は待望の女性消防団員が誕生し、団として大きな一歩を踏み出しました。今はまだ1人ですが、これからたくさんの女性が入団し、活躍してくれることを願っています。8月には、飯田市で開

催される長野県消防ポンプ操法大会に須高地区の代表として出場します。5月から厳しい訓練が始まりますが、全団員の力を結集し前回以上の成績を勝ち取りたいと思っています。



「多くの経験を積んでいきたい」 竹内皓治 さん(中条) *Takeuchi koji*

高校を卒業後、電力会社に勤務しています。

停電になると休日や夜中でも対応しなければなりませんし、今季節は電柱に積もった雪を取り除いたりしなければならぬので、体力的にも厳しい仕事です。

以前、山間部の電気が通っていな

い場所に電気を通す工事をしたとき、地域の人から「ありがとう」と言われ、ライフラインを守るこの仕事に改めてやりがいを感じました。

この仕事は現場だけではなくて事務の仕事もあります。もっと多くの経験を積み、仕事を覚えていきたいと思っています。



新春インタビュー

年男年女の節目を迎えて

皆さん、2019年はどんな年にしたいですか？今年達成したいこと、挑戦してみたいこと。亥年生まれの皆さんに目標を伺いました。

2018年

主な出来事

昨年は皆さんにとってどんな一年だったでしょうか。
1年間の主な出来事を写真とともに振り返ります。



第53回町民運動会開催 10月7日
台風21号の被害により欠場する自治会もあったが、「こんな時だからこそ運動会で町を元気に」と開催。林自治会が2連覇を達成



台風21号襲来 9月4日
台風21号の襲来は町内全域に甚大な被害をもたらした。夜間にも関わらず町民の皆さんによる復旧作業が行われた



小布施見にマラソン開催 7月15日
8,310人がエントリー。記録的な猛暑により走行中止となるも、7,412人が完走



複合型介護施設さくらの園とやまびこの家がオープン 6月4日
在宅療養生活を支える看護小規模多機能型居宅介護施設「さくらの園」と、グループホーム「やまびこの家」を開設



木下晴稀さん 世界大会 5月20日
で優勝

昨シーズンは4つのスラックライン世界大会に出場し、優勝2回、準優勝1回の輝かしい成績を残し世界を圧倒



荒井広宙さん 世界競歩チーム選手権 5月5日
で優勝
タイチン
荒井広宙さんが中国太倉市で開催された世界競歩チーム選手権に50km競歩の日本代表として出場し、3時間44分25秒で初優勝。団体戦でもチームを優勝に導く。写真は5月15日の表敬訪問



12月 11月 10月 9月 8月 7月 6月 5月 4月 3月 2月 1月

- 28日 須坂市消防署小布施分署に新しい高規格救急車を配備^⑧
- 1日 第44回人権フェスティバル開催
- 27日 松川を活用した小水力発電所が稼働スタート^⑦
- 25日 第5回おぶせ能開催
- 4日 第58回町総合文化祭・芸能祭開催
日本舞踊など29演目を披露
- 3日 文化の日表彰式。2団体と6人の皆さんを表彰
- 1日 第58回町総合文化祭・菊花展開催（～9日）。250鉢の菊花を展示
- 17日 小布施文化観光協会創立40周年を記念し観光シンポジウムを開催
- 13日 第58回町総合文化祭・作品展開催（～14日）。約1000点の作品を発表
- 13日 小布施六斎市・秋の味覚祭開催（～14日）^⑥
- 7日 第53回町民運動会
- 16日 スラックライン フルコンボジャパニカップ2018開催（～17日）^⑤
- 8日 若者会議プロジェクト成果報告会
- 4日 台風21号襲来。果樹落下などの被害額は1億582万円余。皇大神社の鳥居が倒れ、中条公会堂の屋根が吹き飛ばすなど被害は町全域に及んだ
- 2日 第19回小布施音楽祭 波多野睦美 & 江崎浩司ジョイントリサイタル
- 14日 HLABOBUSE2018開催（～20日）。町内から6人の高校生が参加
- 28日 子どもみこし、くりんこ祭り開催
- 15日 第16回小布施見にマラソン開催。約1600人のボランティアが大会を支えた
- 21日 新しい農業のあり方策定プロジェクトが始動^④
- 10日 第48回小布施町消防技術大会
- 4日 複合型介護施設「さくらの園」と「やまびこの家」がオープン
- 3日 総合防災訓練実施。1007人参加
- 2日 おぶせオープンガーデン花巡り2018開催（～3日）
- 20日 木下晴稀さん（伊勢町）が米国で開催されたスラックラインの世界大会で優勝。このシーズンでは二つの世界大会で優勝を勝ち取る
- 19日 農村文明創生日本塾・小布施フォーラム開催（～20日）。自治体首長や大学生らが、地方の農村の可能性について意見を交わす
- 5日 荒井広宙さん（大島）が、中国太倉市で開催された世界競歩チーム選手権で優勝。団体戦でも日本チームを優勝に導き、二冠を達成
- 21日 第15回境内アート×苗市開催（～22日）
- 8日 移住定住や交流のための「おぶせ交流館」がオープン^③
- 23日 防災行政無線のデジタル化工事が完了。放送卓と屋外拡声子局が一新された^②
- 25日 観光シンポジウム開催
- 10日 第6回小布施若者会議開催（～12日）。35歳以下の40人が「教育・福祉」「地域メディア」「環境」「観光」のプロジェクトごとに未来を語る^①
- 21日 消防出初式兼検閲式
- 14日 安市開催（～15日）
- 2日 新春歩き初め会に約150人参加



⑧新しい高規格救急車を配備し、最新型の機器を搭載



⑦松川小水力発電所により小布施町の電力の1割をまかなえる



⑥台風被害により傷ついたリンゴを販売し農家の皆さんを応援



⑤県内外の約60人がエントリー。この大会では独自の採点ルールを導入



④若手からベテランまで約20人が新たな農業の姿について話し合う



③起業を目指す若者が集まる滞在型施設として、おぶせ交流館がオープン



②老朽化が進んでいた防災行政無線（同報無線）の放送卓と7カ所の屋外子局をデジタル化



①若者会議後、各プロジェクトが実践的に取り組み、9月に最終報告会が行われた

申告相談が始まります

2月18日(月)～3月15日(金)

2月18日から確定申告が始まります。各種書類は、役場総務課税務会計係に用意しています。税務署から書類が届いた人は、その書類をご利用ください。

確定申告をする必要がある人

- 事業・不動産所得のある人
営業、農業等の事業により生じた所得や地代、家賃などの不動産による所得がある人
- 給与所得のある人
①給与の年収が2千万円を超える人
②給与以外の所得金額の合計が20万円を超える人
- ③給与を2カ所以上から受けている人で、主たる給与以外の収入(アルバイト等)と他の所得の合計が20万円を超える人

公的年金を受給している皆さんへ

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下の場合、所得税・復興特別所得税の確定申告をする必要はありません。※所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。また、所得税・復興特

配偶者控除・配偶者特別控除が次のとおり改正されました

配偶者控除
申告者本人の合計所得金額が1千万円を超える場合は配偶者控除の適用はありません。また控除額については、改正前は一律38万円でしたが、改正後は申告者本人の合計所得が①900万円以下の場合38万円(48万円)、②900万円超950万円以下の場合26万円(32万円)、③950万円超1千万円以下の場合13万円(16万円)となりました。
※(一)内の金額は、老人控除対象配偶者(控除対象配偶者のうち、平成30年12月31日現在の年齢が70歳以上の人)の場合です。

配偶者特別控除

配偶者特別控除の対象となる配偶者の合計所得金額が38万円超123万円以下(改正前は38万円超76万円未満)となり、申告者本人の合計所得金額によっても控除額が異なることとなりました。なお、申告者本人の合計所得金額が1千万円を超える場合は、配偶者特別控除の適用はありません。

■問い合わせ 総務課税務会計係
☎026-214-9103

別所得税の還付を受けるには確定申告をする必要があります。

今年から利用者識別番号の取得が必要になります

今年から、役場で受け付けた確定申告書は、従来の書面ではなく、e-Taxを用いてデータにより税務署へ引き継ぐことになりました。この際に申告者本人の利用者識別番号(ID)の取得が必要となります。取得には本人確認が必要となりますので、後述の「本人確認書類」をお持ちください。
e-Taxを利用したことがあり、すでに利用者識別番号を持っている人は番号の分かるお知らせがき等をお持ちください。e-Taxを利用することにより、源泉徴収票や生命保険料控除の証明書の添付の省略、還付手続の早期処理、翌年から自宅パソコンやスマートフォンを使った電子申告が可能となるなどのメリットがあります。

申告に必要なもの

印鑑(認印)、所得税が還付になる人は還付先の口座番号が分かる書類
《本人確認書類》次の①または②

- ①マイナンバーカード(表・裏の提示)
- ②通知カードの提示、身元確認書(運転免許証、健康保険の保険者証等)の提示

《所得(収入)の分かる書類》

源泉徴収票(原本)、収支内訳書、各帳簿など

《各種控除と必要な書類》

- 社会保険料控除
支払証明書、領収書など
- 生命保険料控除と地震保険料控除
支払証明書
- 住宅借入金等特別控除
控除1年目の人

- ①借入金の年末残高証明書②住宅借入金等特別控除額の計算明細書③新築年月日・工事の請負代金・床面積が50㎡以上であることが分かる書類(請負契約書など)④家屋の登記事項証明書(原本)
- 控除2年目以降の人
①借入金の年末残高証明書②住宅借入金等特別控除額の計算明細書
- 寄付金控除

申告の際の注意

寄付先の団体が発行した領収書など収入がない場合も申告を
申告された内容は、所得証明書、国民健康保険税、各種福祉手当などの基礎資料となります。そのため、申告していないと所得証明書の発行や各種福祉手当を受けることができません。収入がない場合も、総務課税務会計係窓口にある簡易申告書に生活状況などを記入して申告してください。
扶養控除を受けるとき
配偶者・扶養控除等を受ける際は、その人の所得額や、他の人と扶養控除を重複して受けていないか事前に確認してください。

医療費控除を受ける皆さんへ

平成29年分の確定申告から、医療費控除は領収書の提出が不要となり、代わりに「医療費控除の明細書」の添付が必要となりました。なお、税務署から記載内容の確認を求められる場合がありますので、領収書は5年間保存する必要があります。
※平成31年分の確定申告までは、従来どおり領収書の添付により手続きすることもできます。

申告相談日程表

会場	小布施町役場2階 第1会議室
時間	8:45～16:30
2月18日(月)	東町
19日(火)	上町・中町
20日(水)	伊勢町・中央
21日(木)	中扇・横町
22日(金)	福原・栗ガ丘
24日(日)	日曜相談日
25日(月)	大島
26日(火)	飯田・林
27日(水)	山王島・北岡
28日(木)	押羽・羽場
3月1日(金)	六川・中子塚
4日(月)	矢島・清水・中条
5日(火)	松村・水上
6日(水)	雁田・松川地区
7日(木)	松の実・千両・クリトピア
8日(金)	予備日
11日(月)	
12日(火)	
13日(水)	
14日(木)	
15日(金)	

※指定自治会の期日に都合のつかない人は予備日や日曜相談日にも相談できます。

長野税務署からのお知らせ

長野税務署が開催している相談会場をご利用ください

- 次に該当する人は若里市民文化ホールで申告してください。
- ・青色申告をする人
 - ・土地・建物・株式等を売った譲渡所得のある人
 - ・事業等の損失を繰越す繰越損失控除のある人
 - ・相続・贈与のある人

日時 2月18日(月)～3月15日(金)
9:00～16:00
※平日のみ。ただし2月24日(日)、3月3日(日)は開催
場所 長野市若里市民文化ホール



申告書は、国税庁ホームページでも作成できます

役場や税務署の相談会場は大変混雑するため、長時間お待ちいただく場合があります。国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」を利用すると自宅等で確定申告書が作成できますので、e-Taxで送信するか書面で印刷して送付のいずれかで提出できます。「ID・パスワード方式の届出完了通知」を持っている人は「確定申告書等作成コーナー」で確定申告書を作成する際、IDとパスワードを入力すればe-Taxで申告することができますので、ぜひご利用ください。

「確定申告書等作成コーナー」の操作に関するご質問・ご相談は、まずは国税庁ホームページで検索するか電話にてお問い合わせください。

- 《確定申告などに関するお問い合わせ》
国税庁ホームページ「確定申告特集」をご覧ください。
- 《e-Tax・作成コーナーの操作などに関するお問い合わせ》
「e-Tax・作成コーナーヘルプデスク」(0570-01-5901)
【受付】月曜～金曜の9:00～20:00(祝日を除きます)
- 問い合わせ 長野税務署 ☎026-234-0111

小布施町議会 平成30年12月会議

審議期間 12月3日～14日

人事院勧告等に基づく職員の給与条例の改正のほか、補正予算などについて審議が行われました。



- ◇介護保険特別会計 [補正額] 89万6千円
[補正後の額] 10億5,609万3千円
- ◇下水道事業特別会計 [補正額] 2,291万9千円
[補正後の額] 5億2,118万8千円
- ◇農業集落排水事業特別会計 [補正額] 21万1千円
[補正後の額] 5,051万円
- ◇水道事業会計 収益的支出 [補正額] 0円
[補正後の額] 1億7,896万1千円

●小布施総合公園スポーツコミュニティセンターの指定管理者の指定
スポーツコミュニティセンターの指定管理者を次のように指定するものです。
○指定期間 2019(平成31)年度～2023年度
○指定管理者 小布施町大字小布施778番地イ 株式会社 松葉屋本店

●長野広域連合規約の変更
広域連合の事務所の移転に伴い、規約を変更するものです。

●北信保健衛生施設組合の財産処分(2件)
●北信保健衛生施設組合規約の変更
組合のごみ処理事業から長野市が離脱するとともに同組合から脱退するほか、し尿処理事業の終了に伴い、財産処分について協議し規約を変更するものです。

●固定資産評価審査委員会委員の選任
富岡一郎さん(押羽)の任期満了に伴い、永井一雄さん(押羽)が選任同意されました。

◎専決処分の概要
●和解・損害賠償額の決定
町が法人に支払う損害賠償額(1件76,228円)について、議会に報告したものです。



栗ガ丘小学校6年生が一般質問を傍聴(12月6、7日)

●議案

- 条例の一部改正 3件(可決)
- 平成30年度補正予算 6件(可決)
- 指定管理者の指定 1件(可決)
- 広域連合規約の変更 1件(可決)
- 一部事務組合の規約の変更等 3件(可決)
- 固定資産評価審査委員会委員の選任 1件(同意)

●専決処分の報告

- 和解・損害賠償額の決定 1件(報告)

◎議案の概要

- 条例の一部改正
 - ◇議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
 - ◇特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例
人事院勧告に基づき、民間給与との較差を埋めるため、期末手当を年間0.05月分引き上げるものです。
 - ◇小布施町職員の給与に関する条例等
人事院勧告等に基づき、民間給与との較差を埋めるため、一般職の職員の給料を平均0.15%引き上げ、期末・勤労手当を年間0.05月分引き上げるものです。

●平成30年度補正予算

- ◇一般会計 [補正額] 0円
[補正後の額] 49億5,977万2千円
- 歳出の主なもの
 - 人事院勧告等による人件費の補正(総務費) 191万6千円
 - 庁舎事務室拡張工事費(土木費) 685万3千円
 - 下水道事業特別会計繰出金(予備費) 339万5千円
 - 予備費 Δ1,726万9千円
 - ◇国民健康保険特別会計 [補正額] 8万5千円
[補正後の額] 14億7,687万9千円

教育支援

育英金をご利用ください

経済的な理由で就学が困難な学生が高等学校、大学などに通うための支援として、育英金の貸し付けを行っています。

に学資等の貸与を受けていないこと
○父および母の市町村民税額の合計額が20万円以下であること

受付期間 3月8日(金)まで(平成31年4月から貸し付けを希望する場合)
提出書類

- 育英金貸付申込書兼誓約書
- 育英生推薦調書
- 育英生の父および母の市町村民税課税額、生計を別にする連帯保証人の町税等納税額を証するもの(町内者は閲覧の同意があれば提出不要)

育英金を利用できる学生の条件
○小布施町に住所または生活の根拠がある人であること
○勉学の意志があり所定の修学ができる見込みがあると認められること

- 在学する高等学校等の学校長が推薦した人であること
- 貸し付けた育英金の償還が可能であると認められ、かつ、確実な保証人を有すること
- 独立行政法人日本学生支援機構およびその他の団体から別

区分		貸与月額
高等学校 特別支援学校高等部 中等教育学校後期課程 専修学校高等課程	国公立	14,000円以内
	私立	24,000円以内
高等専門学校		19,000円以内
専修学校専門課程 大学	国公立	自宅通学 32,000円以内 自宅外通学 40,000円以内
	私立	自宅通学 40,000円以内 自宅外通学 55,000円以内

■問い合わせ
教育委員会子ども支援係
☎026-214-9110

防災対策

ペット動物のための災害対策講演会を開催します

近年、避難生活を余儀なくされる大規模な自然災害が多発しています。予期できない災害に対処するには飼い主が日頃から災害に備え、自助力を養うことが重要です。講演では、東日本大震災における支援活動での体験談を交え、飼い主が平常時から行うべき対策や、災害時のペット同行避難等についてお話しいただきます。

第1ホール(須坂駅前)
※駐車場は長電パーキングをご利用ください(無料チケットを発行します)
講師 新潟動物ネットワーク代表 岡田朋子さん
その他 参加費無料、申し込み不要
主催 小布施町、須坂市、高山村、須高飼犬管理対策協議会

日時 2月16日(土)
13時30分～15時30分
場所 須坂市シルキーホール3階

■問い合わせ
健康福祉課住民係
☎026-214-9109

「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)のご案内

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。
融資額 子ども一人当たり350万円以内
金利 年1.78%の固定金利(平成30年11月12日現在)
返済期間 15年以内
返済方法 毎月元利均等返済(ボーナス時増額返済も可能)

※詳しくは「国の教育ローン」で検索するか、コールセンターへお問い合わせください。

○教育ローンコールセンター
☎0570-008656(ナビダイヤル)
☎03-5321-8656

■問い合わせ
日本政策金融公庫長野支店
国民生活事業
☎026-233-2141

生涯学習

一般教養講座「片付けられないから
の脱出パート4」を開催します

何度片付けても数日後には元通り。そんな片付けのリバウンドをしないためには「片付け仕組み」を作ることが必要です。そのために大事な「分ける」片付け術をマスターしましょう。今回は動画を交えて実践的に「分ける」技術を学びます。

■問い合わせ

公民館(教育委員会生涯学習係)
☎026-214-9111

日時 1月29日④
14時～15時30分
場所 公民館講堂
講師 収納企画トノ工堂
大島千恵子さん
参加費 無料
申し込み 不要



生涯学習

長野県シニア大学の受講生を募集
します

生きがいと健康づくり、地域活動に取り組みたい幅広い分野の学習・実践を行います。

申込期間

2月1日④～2月28日④

※土日・祝日を除く

※専門コースは、入学決定に際して書類審査と面接があります。

■問い合わせ・申し込み

長野県シニア大学本部
☎026-226-3741
健康福祉課福祉係
☎026-214-9108

○一般コース
入学資格 50歳以上の県内在住者で、学習意欲が旺盛であり、積極的に地域活動を目指す人。平成28年度以前に県シニア大学を卒業した人も入学できます。
学習期間 2年
学習時間 60時間(1年間)
授業料 年額1万円(予定)
(別途教材費等の負担あり)
申込期間 2月1日④～3月15日④
※土日・祝日を除く

○専門コース
入学資格

50歳以上の県内在住者で、地域課題を解決する専門的なスキルを身につけ、実践する人
学習期間 1年
学習時間 35時間(1年間)
授業料 年額2万6千円(予定)
(別途自主活動に必要な経費の負担あり)



公園などの管理を行う
緑の管理人を募集します

勤務地 小布施総合公園、および町内
都市公園
募集人数 若干人
雇用期間 2019(平成31)年4月1日～
2020年3月31日。更新する場合があります。(12月下旬～3月上旬は休業)
勤務時間 6時～15時30分
(実労働時間6時間)
※季節によって勤務時間の変更あり
応募資格 普通自動車免許を有する人
賃金 時給840円
募集期間 2月15日④まで
申込方法 建設水道課都市計画係か町
ホームページにある申込書に運転免許証の写しと履歴書を添えて提出

■問い合わせ 建設水道課都市計画係
☎026-214-9105

農業振興

新しい農業のあり方策定プロジェクト
の事業報告会と講演会を開催します

新しい農業のあり方策定プロジェクトの事業報告会と農業振興を目的とした講演会を開催します。

プロジェクトでは、愛知県内の直売所との取引や被災りんごの市場への出荷など、営農状況の改善に向けた取り組みを始めています。今回の報告会では、こうした活動の現状について報告させていただきます。

また、併せて果樹の育種や今後の動向について、農作物の流通状況や小布施ブランドについての講演会も開催します。

どなたでも参加できますので、大勢の皆さん、ぜひお越しください。

◇講演会

○テーマ①

果樹の育種と今後の動向
講師 長野県果樹試験場
育種部長 泉克明さん

○テーマ②

農作物の流通状況と小布施ブランド
講師 長野県連合青果株式会社
果実部次長グループマネージャー 北村貴志さん

その他

事業報告会および講演会への参加申し込みは不要です。
終了後、講師を囲んで懇親会を開催します(会費千円)。懇親会への参加を希望される人は、1月28日④までに電話でお申し込みください。

■問い合わせ・申し込み

産業振興課農業振興係
☎026-214-9104

◇事業報告会

プロジェクトの活動報告

期日 1月30日④
時間 開場 13時30分
開会 14時
会場 公民館講堂

農業振興

須高地区農業振興研修会を開催します

町と長野県、須崎市、高山村、ながの農業協同組合が協力し、農業生産工程管理(GAP)や、須高地区農産物の生産・販売振興を目的とした研修会を開催します。

GAPとは、農業における食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのことです。農家が自ら実践することで、コストの削減や品質の向上などの経営改善効果も見込むことができます。

会場 須崎市メセナホール

内容

○GAPを知る
○冷蔵ぶどう生産販売経過と次年度対応について
○りんごの生産振興について(青森県視察報告)

○野菜・花の生産振興について
対象 須高地区内で農産物の生産や販売を行っている農家の皆さん(果樹・水稲・麦・野菜・花)
その他 事前申し込みは不要です

■問い合わせ

産業振興課農業振興係
☎026-214-9104

果樹栽培実践道場の
受講生を募集します

長野農業改良普及センターでは「りんご新わい化栽培(高密度)」と「ぶどう短梢無核栽培」の講座を開催します。

日程 4月から翌年2月まで8回程度
受講料 無料
募集定員 各講座10人程度
対象者 新たに「りんご新わい化栽培(高密度)」と「ぶどう短梢無核栽培」に取り組む意欲のある人
その他 スマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかをご用意ください(講座で使用します)
申込期限 3月8日④ 15時まで

■問い合わせ・申し込み

長野農業改良普及センター
☎026-234-9534

まちとしょ テラソ information



☎ 026-247-2747 / Fax 026-247-4504

開館時間 9:00 ~ 20:00

公式HPで最新情報をご覧ください

2月の休館日▶5日ⓧ、12日ⓧ、19日ⓧ、26日ⓧ

2月のテラソ百選は「ときめきを読む」です

2月はバレンタインデーもあり「恋の季節」のイメージがありませんか。

「ときめき」とは、期待や喜びで胸躍る状態のこと。そんな感情はいつだったっけなあ？ピンキーとキラーズならすぐ歌えるんだけどなあ……と言うあなた！せめて想像・空想の世界でときめいてみませんか。



雑誌の最新号の目次をHPでご覧いただけるようになりました

テラソ雑誌コーナーに備えてある雑誌のうち18誌の最新号の目次を、テラソのホームページ上



桂館長からのお知らせ

で見ることができます。トップページにある「蔵書検索・新着本」のタグをクリックし、さらにそのページにある「開架継続購読雑誌一覧」または「情報誌一覧」の文字をクリックすると目次が出てきますので、ぜひご利用ください。

食育ワークショップ〈上級編〉を開催します

和食のお弁当を作ります。今回は上級編、普段からお手伝いをしているお子さんが対象です。申し込みは、カウンターか電話でご連絡ください。

またワークショップに伴い食育関連図書コーナーを設けますので、そちらもご覧ください。

日時 2月9日ⓧ 10:00 ~ 12:00

場所 北斎ホール調理室

材料費 1人500円

対象 小学3年生以上(先着10人)



2月のおはなし会

日時	内容
2月 9日ⓧ 10:30 ~	お父さんの読み聞かせ会
2月 15日ⓧ 15:30 ~	低学年のためのおはなし会
2月 23日ⓧ 10:30 ~	おはなし会
2月 25日ⓧ 10:00 ~	大人のための語りを楽しむ会

今月の棚からひとつかみ

— テラソおススメの本をご紹介します —

『0才から100才まで学び続けなくてはならない時代を生きる学ぶ人と育てる人のための教科書』
落合陽一 著 / 小学館

落合陽一が教える何才からでも間に合う『学ぶ』スキル。人生100年時代の「新しい学び方」とは。

『最後の読書』
津野海太郎 著 / 新潮社

老いてこそわかった読書の醍醐味！
鶴見俊輔、山田稔、美智子皇后、メイ・サートン、獅子文六、金子兜太……筋金入りの読書家80歳、本まみれの日々。

『死体鑑定医の告白』
上野正彦 著 / 東京書籍

「事故ではありません。その人は殺されたのです。次から次へと依頼される「再鑑定」。本当の死因は何か。天才監察医が解き明かした難事件の真相とは……。

『物忘れ・認知症を撃退！脳がよみがえるきくち体操』
菊池和子 著 / 宝島社

驚きの若さが話題！著者自ら実践する“いのちの体操”のキモがわかる決定版！84歳にして衝撃の美と若さを保つ「きくち体操」創始者・菊池和子の最新刊。

有料広告

やすらぐ「お墓」の
やすらぎあん 施工実績 3320基

☎ 0120-782-778 ながの農業協同組合指定店 やすらぎあん 検索



農業委員会だより

～小布施の大地に一番近い農家の皆さんへ～



今後の農業のあり方検討に向け、皆さんの声をお寄せください

平成28年の農業委員会法改正より、農業委員会が果たす大きな役割のひとつが「農地利用の最適化」とされています。農業従事者の高齢化や減少などが原因で、もとは優良農地であるのに荒廃してしまっている農地は全国的に増えており、小布施町も例外ではありません。

農地は町全体の財産として大切に守るべきものです。このため、これからも規模拡大を進める農業者や新規就農者といった「担い手農家」への農地集積・集約を進め、遊休農地の解消や発生防止につなげてまいります。

そこで、今後の農業の担い手や農地利用のあり方などについて、町農業に対する皆さんの声をお寄せいただきたいと思っております。

農地集積・集約に向け、所有する農地の売買や貸借のご希望はもちろん、さまざまな農業情報や町農業に対するご意見、その他ご相談など、ぜひお寄せください。



■ご意見・ご相談

農業委員会事務局(産業振興課農業振興係)

☎ 026-214-9104

今月から来ました！

新しい地域おこし協力隊 のお二人をご紹介します



とば 鳥羽 理恵子 さん

新橋でイタリアンレストランを経営している鳥羽さん。昨年12月に2号店をオープン、その名も「OBUSSE」という小布施の食材を使った料理を提供するお店です。小布施町(松の実)出身の鳥羽さんですが「長く東京にいたので、その人脈を生かして小布施をPRしていきたい」と語ります。

これからは小布施の農産物に関するマーケティングなど、地域商社化の事業に携わっていただく予定です。

「一緒に何かやろうという時に、受け入れてくれる温かさがある町ですね」と語る鈴木さん。小布施との関わりは、一昨年の小布施若者会議から。編集者として活動する傍ら、昨年の若者会議では情報発信を考える地域メディア部会に参加、役場の情報発信研究会にも関わっていただいています。

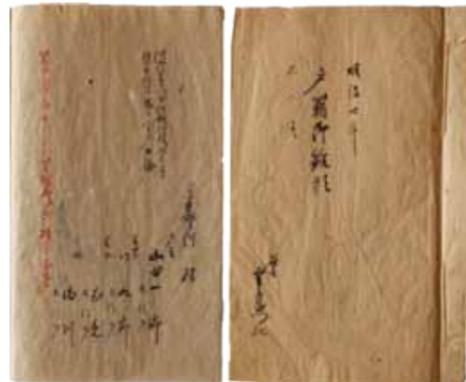
これから町のウェブサイトやLINEの運営、まちとしょテラソの企画などを一緒に進めていただく予定です。



鈴木 まり子 さん



明治12・13年小布施名簿(甲第1号、甲第3号)(今井家文書)



戸籍御雛形(明治4年8月)(平松家文書)



第58回

2013(平成25)年4月に開館した小布施町文書館の収蔵品や取り組みを紹介します。

戸籍と村々の編成

維新政府は、明治4年(1871年)、戸籍法を公布しました。村ごとに全ての家の家族台帳をつくり上げ、その筆頭者を戸主として家族に対する絶対権を与え行政の基盤としました。戸籍をつくるために新たに戸籍区を設けて、戸長と副戸長を置き、村名主や組頭が書き上げに当たりました。小布施村など郷土の12村は第28区(長野県内に38区)に編入され、戸長に高井辰二氏、副戸長に市村戸右衛門氏が任命されました。戸籍の内容は、法に書式が定められており、明治4年秋までには戸籍簿が完成しました。

政府は、明治5年4月、戸籍区を改めて新しい区制を敷き、国々県々区々町村の行政系統を組み立てました。明治5年10月には県と区の間の大区・小区制が認められ、長野県はこの大区・小区制に明治7年7月に移行しました。小布施の村々は第18大区に編入、さらに3つの小区に属しました。明治12年には、郡区町村編成法に基づき、県下に16郡が設置されました。大区・小区制は廃止され、行政区画としての郡が登場しました。郡には郡役所が設置され、郡長が置かれ、また町村には戸長役場が設置され、戸長が置かれました。

保健師、保育士・幼稚園教諭(育休代替任期付職員)を募集します

- 保健師
 - 採用人数 若干人
 - 受験資格 保健師資格を有する人
 - 給与 月額181,800円(支給要件に応じて期末・勤労手当、通勤手当、住居手当等を支給)
- 共通項目
 - 任用期間 採用の日から3年以内
 - 受付締切日 1月30日⑩までに受験申込書類を提出してください
 - 試験日 2月10日⑩ 9:00～
 - 試験会場 小布施町公民館講堂
 - 試験科目 作文試験、面接試験
- 問い合わせ・申し込み
 - 総務課総務係 ☎026-214-9100



学校・園だより

巴錦を育てるときにがんばったことはなんでしたか? 栗ガ丘小学校6年1組 番場奏音^{かのん}



病気にならないように水をあげる量やわき芽をどうしたらいいか聞いて、きれいな花を咲かせようと保存会の人たちがアドバイスしてくれたことを意識しながら育てることをがんばった。みんなきれいな花を咲かせたいからよびの水くれ、わき芽取りもやったり、いつもわき芽を取りわすれている人のを少し取ったりすることもできた。輪台をつけるとき協力しあい、助けあい、教えあって花が真すぐ育つようにしました。係の新聞でも注意することをクイズにして、アドバイスをいかして育てられるようにしました。台風とかもあって大変だったけど、きれいな巴錦にしようと協力できたし、無事にきれいに巴錦が咲いて良かったです。



人権同和教育の推進に関する 入選ポスター

平成30年度人権同和教育推進に関するポスターの部、優秀賞作品を紹介します。



栗ガ丘小学校6年 丸山日愛さん



小布施中学校2年 寺島希美さん

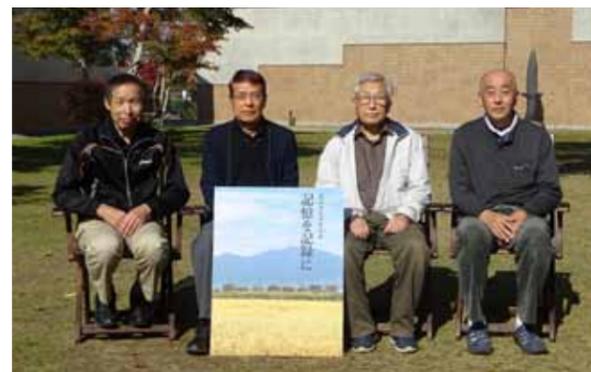


小布施中学校1年 三井華さん



一緒にDO!?

おぶせビデオデポ



※掲載希望のグループは、公民館までご連絡ください。

誕生したのは2017年秋、町の総合文化祭作品展の一隅に、ビデオリポーターの撮影作品を再生鑑賞する場を設けていただいてからです。リポーターの先輩やケーブルテレビの録画ビデオを含めると大量の動画が保存され、町のビデオ撮影人もいっぱいいるというご時世。この度小布施町文化協会に加入しました「おぶせビデオデポ」の会の活動は春から文化祭出品計画をしています。まちとよテラソ友の会にも属し、テラソで試写や会議をします。まちづくり・スポーツ・祭り・学術などの「記憶を記録」する人たちの集まりにしようと思います。ご賛同の方はお気軽にいらしてください!!!

連絡先 吉田健二 ☎090-2759-1030

有料広告

株式会社 見海造園

一級造園技能士・庭園アドバイザー

TEL:247-2887 FAX:247-5633

E-mail: obuse@niwahana.net

消毒・手入れ・工事等緊急の場合も対応します



庭の存在がライフスタイルを変える

庭木の手入れ・栗・果樹・高木の伐採までお任せください。その他何でもご相談ください!

庭園工事 茶庭・一般住宅庭園・修景工 設計・施工・管理

エクステリア工事 門扉・フェンス・カーポート

石工事 灯籠・石積み・墓石・記念碑

その他 消毒・各種門松・雪吊り・屋上緑化等

特別教養講座「二絃琴体験会」を開催します

公民館(教育委員会生涯学習係) 026-214-9111 高井鴻山が愛した「二絃琴」。北斎も聴いたかもしれない音色を奏でてみませんか。どなたでも参加できます。日時 2月6日(土)、13日(土)、20日(土)、27日(土) 15時~16時30分 場所 公民館音楽室 (20日のみ第2学習室)

一般教養講座「幸せな楽しい生き方を見つけよう」今から始める「終活」を開催します

公民館(教育委員会生涯学習係) 026-214-9111 終活って「実際どうすればいいんだろう」「何から始めたらいいかわからない」と気になってる人。人生を悔いなく、これからの生き方を自分らしく、より良くしていくために終活について学んでみませんか。日時 2月14日(土) 14時~15時30分 場所 公民館第2学習室 講師 一般社団法人日本ブラウドケア教育協会代表 大澤智恵子さん 参加費 無料 申し込み 不要

駐車指導員を募集します

建設水道課都市計画係 026-214-9105 町内の車の流れをスムーズにし、渋滞を緩和するため、目的の地や駐車場案内を行う駐車指導員を募集します。任期 2年間(4月1日から) 勤務内容 半日(3時間)単位で、駐車施設への案内、誘導や観光案内 勤務日 春、秋の土・日曜日と祝日で混雑が予想される日 謝礼 1時間1000円程度 申込期限 2月28日(土) 申込方法 建設水道課都市計画係窓口かホームページにある申込書を提出

自衛官を募集します

自衛隊長野地方協力本部長野地域事務所 026-235-6026 〇予備自衛官補 自衛官未経験者を予備自衛官として採用し、所要の教育訓練を経た後に採用します。受験資格 一般 18歳以上34歳未満の人 技能 18歳以上で国家免許資格等を有する人 受付期間 4月12日(金)まで 試験日 4月20日(土)~24日(水)のうち1日

老人クラブ連合会「輪投げ大会」を開催します

小布施町社会福祉協議会 026-242-6665 今回で38回目となる定番の大会です。5人1チームの団体戦ですが個人の参加でも大歓迎。混成チームで出場します。老人クラブ会員以外の人もお気軽にご参加ください。日時 3月11日(日) 8時30分~ 場所 千年樹の里健康福祉センター 参加費 無料 申込期限 3月1日(金)

学校給食に使用する地元農産物を募集します

学校給食センター 026-247-2205 学校給食センターでは地元農産物を納入していただける農家を募集します。使用する野菜や果物の種類、量や価格は、献立や収量、相場を考慮し給食センターの栄養士と相談して決定します。おいしくて安全な農産物をご子どもたちに届けませんか。

果樹共済加入申し込み受付中

長野県農業共済組合では、果樹共済の加入申し込みを受け付けています。近年、多様な被害が発生していることから、全ての自然災害が補償対象となる総合方式への加入をお勧めします。新しく加入される皆さんは2月末までに申し込んでください。

問い合わせ・申し込み 長野県農業共済組合北信地域センター(長野市役所豊野支所内) 026-219-2891

忘れて 2月の納付 固定資産税 4期 納期限は 2月28日(土)です

戸籍の窓口

※掲載は希望者のみ(敬称略)

出生 はじめまして

小林暖来(はるあき) 夢希(ゆめ) 宏嗣(こうじ) 清水(しみず) 小山琉愛(るあ) 美菜(みな) 大和(だいわ) 伊勢町(いせ)

結婚 お幸せに

原よし美(はらよしみ) 中条(なかつち) 小山欽也(こやまきんや) 小諸市(こもろ) 池田一真(いけだかずま) 北岡(きたおか) 北沢天音(きたさかあまね) 長野市(ながの)

死亡 ご冥福をお祈りします

小林芳美(こばやしよしみ) 林(はやashi) 黒岩三男(くろいわみつお) 松村(まつむら) 森下ミヨ(もりしたみよ) 中扇(なかつう)

Table with 4 columns: Name, Age, Address, etc. Includes names like 山石きよゑ, 岩崎たきゑ, 依田綾子, etc.

ひとのうごき 1月1日現在(前月比) 人口 男 5,334人(+3) 女 5,670人(-11) 合計 11,004人(-8) 世帯 3,824世帯(+4)

寄付のお礼

- 厚くお礼申し上げます。 東京都品川区 三田愛様 25,000円 大阪府羽曳野市 谷口勝様 15,000円 錦織隆夫様(中町) 3,000円

「世界一のパン」の絵本を全園児、小中学生に寄贈



文屋代表の木下豊さんと、岩崎小弥太さんの妻しのぶさん(右から2番目)

文屋(飯田、代表 木下豊さん)から「世界一のパン〜チェルシーパンズ物語〜」の絵本1,435冊を、町の全園児と小中学生、職員に寄贈いただきました。この絵本は、小布施岩崎(中町)を営む故岩崎小弥太さんが75年ほど前から作り続けてきたパン「チェルシーパンズ」の物語です。



有料広告

寒い! 暗い! 使いづらい! そして新建材をリセット!

リフォームでも新築並みの断熱性能と耐震性をプラスし、新築以上の空間を自然素材で実現します。今まで悩んでいた寒さ、暗さ、結露を改善! あなたの計画にリフォームも加えてみてはいかがでしょうか。



小布施「夢の家」株式会社イマイ企画 福原 216-14 TEL0120-691-491

有料広告

竹風堂は 国産栗100%の安心。



どら焼を超えた 栗粒あん 竹風堂 栗菓子 竹風堂 小布施本店 0247-2569 https://chikurudo.com

日・曜	行事名	時間	場所	ページ
1 金	エンゼル豆まき	10:00～	エンゼルランドセンター	
2 土	ギャラリートーク「俵屋宗達について～国宝になった画家は謎だらけ～」	14:00～	おぶせミュージアム・中島千波館	
3 日				
4 月				
5 火	エンゼルあそびの広場 (0歳児) 離乳食・幼児食作り	9:45～	エンゼルランドセンター	
6 水	特別教養講座「一絃琴体験会①」	15:00～	公民館音楽室	18P
7 木	エンゼルほのぼのカンファレンス・就労相談 オレンジカフェくりんこ	10:00～ 13:30～	エンゼルランドセンター 健康福祉センター	
8 金	エンゼルおはなしの日	10:30～	エンゼルランドセンター	
9 土				
10 日	資源物の日曜回収	8:00～10:00	生活支援ハウス駐車場	
11 月				
12 火	ダンスで脳元気教室	13:30～	健康福祉センター	
13 水	エンゼルあそびの広場 (1歳児) 親子クッキング ウォーキング健康教室 特別教養講座「一絃琴体験会②」	9:45～ 13:30～ 15:00～	エンゼルランドセンター 健康福祉センター 公民館音楽室	18P
14 木	運転免許特定任意講習会	18:30～	須坂警察署3階会議室	
15 金	エンゼル手作りおもちゃの日	10:30～	エンゼルランドセンター	
16 土				
17 日	まちづくり委員会交流部会「巻き寿司と水餃子を楽しむ会」	9:30～	健康福祉センター調理室	
18 月				
19 火	エンゼルあそびの広場 (2歳児) 親子クッキング	9:45～	エンゼルランドセンター	
20 水	特別教養講座「一絃琴体験会③」 須高広域シルバー人材センター入会説明会	15:00～ 13:30～	公民館第2学習室 桃源荘	18P
21 木				
22 金	エンゼル誕生会 脳のリフレッシュ教室交流会	10:30～ 13:30～	エンゼルランドセンター 健康福祉センター	
23 土				
24 日				
25 月	チャレンジのど自慢教室	13:00～	健康福祉センター	
26 火	エンゼルやしょうま作り オペラ教室「ドン・パスクァーレ」	9:45～ 18:00～	エンゼルランドセンター 公民館講堂	20P
27 水	特別教養講座「一絃琴体験会④」	15:00～	公民館音楽室	18P
28 木				

有料広告

小布施子ども空手道教室 **がんばる空手道 仲間大募集!!**
～見学、体験、大歓迎!!～

一がんばる空手道とは！
10年前に長野県に立ち上げた空手団体です。
「今どきの子どもたち」「今どきの教育」を考えつつ、心の強さを教えます。
空手を通して、礼儀作法、相手を思いやる、感謝の心を育てます。
楽しさいっぱい！笑顔がいっぱい！の道場です。

会場 栗ガ丘小学校体育館 月会費 2,000円
稽古 毎週土曜日 pm2:00-3:00

お問い合わせ 090-2559-8679 氣動流 師範 池上まで

道場訓
一、素直な少年になること
一、親や先輩を尊敬し、正しい言葉遣いをする
一、嫌なこと、苦しいことに負けず、自分から進んでやること
一、友達を信じ、みんな仲良くすること
一、無駄なく、真面目に練習と勉強に励むこと

おぶせっこ 大集合!! 1月生まれ

2月、3月生まれの小学生以下の皆さんを募集!!
①名前(ふりがな)②生年月日③性別④電話番号⑤応募者の名前・自治会⑥メッセージ(30字まで)⑦写真を下記宛先まで(先着4人)(データは2MB以下)
●応募締切
☆2月生まれ 1月31日
☆3月生まれ 2月28日
●応募先 総務課総務係
☎026-214-9100(直通)
✉soumu@town.obuse.nagano.jp

たきざわ・しおり H30.1.19生
滝沢 詩織ちゃん
「いっぱい食べて、いっぱい遊んで大きくなってね」
◎滝沢伸司◎由香(東町)より

やまだ・そうま H29.1.23生
山田 蒼馬くん
「誕生日おめでとう!いっぱい遊んで元気に育ってね」
◎山田渡◎美保(六川)より

たじり・さち H30.1.24生
田尻 紗知ちゃん
「1歳おめでとう。元気いっぱいすごしてね」
◎田尻祐大◎裕美(東町)より

エンゼル通信
お問い合わせ エンゼルランドセンター ☎026-247-2137

2月のお知らせ “やしょうま” 作り講習会

北信濃の郷土食“やしょうま”を親子で一緒に作りませんか。食生活改善推進協議会の皆さんを講師に、ピート大根や抹茶など自然な色を使って、色鮮やかなやしょうまを作ります。
日時 2月26日(火) 9:45～ 場所 調理室
参加費 300円(申込時に集金)
申し込み 2月19日(火)まで(定員先着16組)
その他 2歳児は親子で参加、0・1歳児は託児を行います

2月の各種相談

お問い合わせ 各種相談 ☎026-247-3111

相談内容	日時	相談員	場所等
人権相談	6日(水) 12:30～14:30 ※電話、匿名でも可	人権擁護委員	北斎ホール 相談室 ☎内線545
心配ごと相談	5日(火)、19日(火) 13:00～15:00	民生児童委員	北斎ホール 事務室
行政相談	15日(金) 9:30～11:30	行政相談委員	北斎ホール 相談室
あったか介護談話室	18日(月) 13:30～15:30	介護支援専門員	健康福祉センター
乳幼児健康相談	6日(水) 9:30～11:30	保健師・栄養士 臨床心理士	健康福祉センター
住まいづくり相談	20日(金) 14:00～16:00 ※要予約	住まいづくり相談員	公民館2階 音楽室
結婚相談	毎週(火)・(水)・(木) 10:00～12:00 13:00～15:00	結婚専門相談員	公民館結婚改善委員会室
心のサポート相談	毎週(水)・(金) 13:00～15:00 上記時間にお電話で面接時間をご予約ください	臨床心理士	おぶせ交流館 2階 相談室 ☎026-214-6651
法律相談	20日(金) 14:00～16:00 ※要予約	弁護士・司法書士	北斎ホール 相談室

さだよし 神戸貞由さん
きよくじつたんこう 旭日単光章を受章

神戸貞由さん(中条)が地方自治の発展に寄与した功績をたたえられ、国から旭日単光章が贈られました。神戸さんは昭和58年4月から平成7年4月まで12年にわたり町議会議員を務め、平成3年からの2年間は議会議長として小布施のまちづくりを担ってこられました。また平成7年10月からの4年間は町教育委員も務められ、子どもたちの教育環境の整備にも尽力されました。市村町長から伝達が行われると「価値のある章をいただき、ありがとうございます」と穏やかに話し、家族と受章の喜びを分かち合いました。

神戸貞由さん・千春さん夫妻



Health 情報 みんなの健康ひろば

健診結果や体調のこと、食事など健康について気になることはありませんか。保健師と栄養士に何でもご相談ください。
■健康福祉課健康係 ☎026-214-9107

「歯の健康を守る集い」を開催します

長野県地域包括医療協議会須高地区協議会では、歯の健康を守る集いを開催します。

いつまでも自分の力で口から食事をとることで、健康長寿で楽しい生活を送ることができます。お口の病気が全身の病気に関係があることを知り、健康な毎日を過ごすための方法を一緒に考えましょう。

日時 2月16日④ 開場 12:30 開会 13:30

場所 須坂市保健センター

内容

○催し物 12:30～

・食生活改善コーナー

試食とクイズと栄養相談

・からだチェックコーナー

あなたは血管美人？（毛細血管観察）

体組成計で自分の身体を見てみよう！

- ・お口の健康コーナー
口臭検査、そしゃくチェック、歯科相談
- ・お勧め歯磨き用品の展示・販売
- ・作業所の紹介・販売

○信州医療センターの嚥下機能評価外来の取り組み紹介 14:00～14:20
紹介内容 「口から安全に食事を採るために」
紹介者 言語聴覚士 北田将大さん

○講演会 14:20～15:50
演題 「健口づくりで健康長寿～いつまでも自分で口から食べられるために～」
講師 山岸光男さん
歯科医師・医学博士（法医学）



■問い合わせ
健康福祉課健康係 ☎026-214-9107

新しい命を迎える準備を一緒に

たんぽぽくらぶ（両親学級）を開催します

これから出産を迎えるご家族を対象に開催します。参加を希望する人は、健康福祉課健康係までお申し込みください。

対象者 妊婦さんと家族
日時 2月14日④ 受付9:00～
会場 保健センター
内容 赤ちゃんの沐浴体験、妊婦体験、栄養相談、出産のビデオ鑑賞など



子どもの健診

乳幼児の健康をチェックする健診を毎月行っています。子育ての相談もお受けしていますのでぜひご利用ください。

会場はいずれも健康福祉センターです。

健診	日時	対象
10・11カ月児健康診査	2月20日④ 受付 13:15～13:30	平成30年3月～4月生まれ
子育て教室「こっこ塾」 (6・7カ月)	2月27日④ 受付 9:30～9:45	平成30年7月～8月生まれ
3・4カ月児健康診査	2月28日④ 受付 13:00～13:15	平成30年10月～11月生まれ

series 69 Obuse 彩発見

「寄っとくんない 見てくんない」

広報員がお気に入りの場所を紹介します

私のお気に入り

中子塚のメインストリート



私の家の近所には、気楽に立ち寄り、おしゃべりする場所があります。

その道を通ると「ちょっと寄ってこないや」と声を掛けてくれる方たちがいます。その声につられて畑に行く人が立ち寄ったりと、なんとなく集まってくる憩いの場になっています。

皆さん、中子塚のメインストリートを、ちょっと通ってみませんか！



広報員
松本さゆみさん
まつもと・さゆみ(中子塚)

おぶせ自然暦 vol.82

four seasons in obuse

ツルマサキ

ツルマサキはニシキ科のつる性の常緑植物です。山に入ってツルマサキの前に行っても気付く人は少ないと思います。つる性の茎から糸のような細い根を出して周りの木の幹に張りつくようにして這い上がります。7月ごろ緑白色の花が咲き、秋に実が熟すと仮種皮が割れて中から赤い実が出てきます。雁田山にもツルマサキに巻きつかれた木が何本もあります。立ち木を利用して成長していきますが、寄生植物ではありません。案内人：清水照雄さん（栗ガ丘）



1_ツルマサキが這い上がって一本の木のようにになっている（撮影：戸隠高原） 2_サクラの木に貼りつくツルマサキ 3、4_仮種皮から出てきた赤い実
撮影時期：11月～12月
撮影地：雁田山（2～4）（1・2は清水さん提供写真）

Mālō e lelei

トンガからこんにちは



酒井知美さん
さかい・ともみ(北岡出身)

JICA青年海外協力隊員として一昨年10月からトンガで暮らす看護師の酒井知美さん。彼女が肌で感じたトンガの日常を紹介します。（3カ月に1度、連載の予定です）

vol.5 トンガの伝統工芸品 タバ

トンガの伝統工芸品に樹皮でできたタバという布があります。トンガ語では「ンガトゥ」といい、大きなものだど制作時間は半年以上かかり、現地の人々にとって貴重な収入源となっているそうです。先日、大きいタバを作るために、樹皮布を何枚も糊で合わせる作業をさせてもらいました。単純



1_地域に住むトンガ人と共にタバ作り
2_一つ一つ手作業で模様を描いていきます
3_様々な柄のタバがあります

作業ではありますが、樹皮布同士を合わせる部分をきれいにそろえなければならず、難しかったです。終わったものを天日干しし、その後黒いインクで模様を描いていきます。1年を通して、島のいろいろな場所でトントントンというタバ作りの音が響く身近な工芸品のひとつです。



地元と共に歩むオブセ牛乳

有限会社オブセ牛乳(松村)が、信州の優れたブランドを表彰する「信州ブランドアワード2018」の企業・事業ブランド部門賞を受賞しました。効率性を優先することなく、安全と味にこだわり80℃の低温で15分間殺菌する製法を続けていること、また学校給食を通じて小布施の子どもたちに牛乳を提供し続けている点などが評価されたものです。社長の西岡幸宏さんは「地元で育ててもらったオブセ牛乳が長野県を代表するブランドとして認めていただきました。小布施の人たちに感謝です」と受賞の喜びを語りました。



喜びを語る(有)オブセ牛乳の西岡幸宏社長(中央)

独自の空撮システムが県で認定

株式会社クエストコーポレーション(中条)が開発した空撮システム「スカイキャッチャープロ」が長野県の「信州ベンチャー開発認定品」の認定を受けました。県内の中小事業者が開発した新規性や独創性のある商品や技術を長野県がPRしていくもので、ヘリウムガスでバルーンを揚げ空撮する技術が評価されたものです。「カメラや装置、全ての性能を落とさず軽量化するのに苦労しました。ドローンよりも気軽に、誰でも操作できるのが特徴」と社長の神戸博之さん。災害時の現地調査や広範囲にわたる警備など、多方面での活用が期待されます。



最新型の高規格救急車を配備

12月28日、須坂市消防署小布施分署に最新型の高規格救急車が配備されました。これまでの救急車よりも車外の照明設備が充実し、夜間での救急活動の安全性が向上しました。装備面では最新型の自動心臓マッサージ機が導入され、走行中の振動に影響されることなく的確な心臓マッサージが行えるようになりました。湯本謙司救急救命士は「この機器の導入によって町民の皆さんの救命率向上に大きな期待が持てます」と話します。町民の暮らしを守る小布施分署に、心強い味方が加わりました。



編集後記

▼1月号の恒例企画、年男年女インタビューで24歳を迎える若者二人にお話しを伺いました。二人ともしっかりと前を見つめ、向上心を持って仕事に向き合っているのが印象的でした。「何かを始めるのに、遅過ぎるという事はない」。若い二人から刺激を受け、何か新しい事に挑戦しようと思ったとたん、持病の腰痛が…。結局ごろごろ過ごした年末年始となりました。(塩野崎)

▼今号の取材中、この町は何かをやるうとすると、「仲間がすぐ集まる」(竹内淳子さん)、「受け入れてくれる温かさがある」(鈴木まり子さん)との言葉が心に残りました。新しいことを応援する気運がこの町にはあります。さて、真新しい今年の手帳も、これから出逢う皆さんの言葉で埋め尽くしていきたいと思えます。本年もよろしくお願いたします。(小橋)

マチを好きになるアプリ

マチイロ

マチイロは「町報おぶせ」をいつでもどこでも読むことができるスマートフォン専用の無料アプリです。

ダウンロードはこちらから